

# 重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

資料2

## 基本目標1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

### （1）まちの活性化と生活環境の向上

#### ①瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルの活用

施策	KPI		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
1 フルインター化	フルインター化に伴う企業誘致件数	-	2件 (R2~R6)	2件 (R2~R6)	3件	66.7	産業観光課	実績（企業誘致件数） 令和2年度：2件 令和3年度：2件  ※H29.7.21 フルインター化事業採択	令和2年度に県の番の州臨海工業団地が完売となり、誘致する用地が限られてきている。今後は工業適地の調査ならびに把握、また大規模立地を重視していた政策の転換についても検討が必要となる。
2 -	JR坂出駅の1日あたり乗車人員	5,355人	4,214人	4,204人	5,500人	76.4	-	四国内では4位となっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全体の利用者数が大幅に減少したが、令和3年度は回復傾向にある。  【令和3年度】 1位 高松 9,473人 2位 徳島 5,667人 3位 松山 4,879人 5位 高知 3,953人	坂出駅周辺の再整備などにより、県内屈指の交通アクセスの良さを誇る本市の強みをさらに向上させ、エリアの価値を高めることにより、交流人口の拡大、人口増加により乗車人員の増加を図る。
3 企業立地促進助成金	企業立地促進助成金を利用した市内新規常用雇用予定者数（直近5年の件数）	62名 (H26~H30)	92名 (H28~R2)	179名 (R2~R3)	70名 (R2~R6)	255.7	産業観光課	実績（利用件数・市内新規常用雇用予定者数） ・平成28年度：0件 ・平成29年度：2件・4名 ・平成30年度：2件・8名 ・令和元年度：1件・4名 ・令和2年度：5件・76名 ・令和3年度：3件・103名	例年数件の助成実績があるが、番の州臨海工業団地における立地が完了してしまったこともあり、企業に提供できる工業適地の情報がない状況である。番の州臨海工業団地での立地助成についてはいまだ完了していないものもあるため、目標値は達成できるものと見込めるが、今後の課題として工業適地の調査ならびに把握、また大規模立地を重視していた政策の転換についても検討が必要となる。

## ②都市の環境整備と地域公共交通の利便性向上

施策	K P I		第 2 期の達成状況					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
4 循環バス運行事業	循環バスの利用者数 (人/年)	58,813 人	48,156 人	54,953 人	72,000 人	76.3	政策課	<p>従来から行っている、幼稚園・保育園・こども園にバスが乗り入れてのバスの乗り方教室などのモビリティマネジメントに加え、運行事業者においてバス車内の新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、安心してバスを利用できる環境整備に取り組んでいる。</p> <p>令和2年度と比較すると、利用者は回復したものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っておらず、持続可能な公共交通を実現するために、「坂出市地域公共交通計画」の策定に取り組んでいる。</p>	<p>利用者の意見を反映して、循環バス中ルートの運行を開始したが、利用者の増加にはつながっていない。令和4年度策定予定の「坂出市地域公共交通計画」に基づき、改めてニーズの確認や利用促進に取り組んでいく必要がある。</p>	

## (2) 坂出の魅力発信

施策	K P I		第 2 期の達成状況					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
5 讃岐国府跡保存活用事業	讃岐国府跡調査報告会来場者数 (人/年)	90人	90人	0人	150人	0.0	文化振興課	<p>令和3年度は発掘調査がなかったことや新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年開催されていた報告会が中止となったため。</p>	<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となってしまったが、讃岐国府跡の発見当初は新聞報道等の影響もあり、現地説明会の参加者数や毎年度参加されている熱心な来場者もいることから、一定数の来場者が見込まれる。</p> <p>また、平成25年度以降、毎年度実施しているが、参加者が固定化されている傾向が伺えるため、その年度の講師や講演内容によって参加者に多少の増減が見られる傾向にある。</p> <p>今後の講演内容や開催日時等を再検討し、さらなる情報発信に努めながら、目標値の参加人員の回復を目指す。</p>	

施策	K P I		第 2 期の達成状況					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
6	ホームページ運営	市ホームページ全体のアクセス数(件数/年)	733,512 アクセス	913,081 アクセス	1,011,961 アクセス	719,000 アクセス	140.7	秘書広報課	新型コロナウイルス感染症に関するページの閲覧が増加している。令和2年3月に新型コロナウイルス感染症に関連するページをとりまとめたページを作成し、トップページの「重要なお知らせ」に掲載した。令和3年5月には、トップページのスライドに、新型コロナワクチン接種と新型コロナウイルス感染症関連情報のページにリンクを張った画像を新たに設けた。 また、令和3年3月に、カテゴリをわかりやすくするとともに、画像の多用やSNS、YouTube、バナーの設置等、見やすく使いやすくなるよう観光ページのリニューアルを実施した。 □	引き続き、ウェブアクセシビリティにも配慮しながら、内容の充実と適時適切な情報提供を図り、だれもが利用しやすいホームページを目指す。
7	SNSを活用した観光情報の発信	坂出市観光協会のフェイスブックページのフォロワー数	704件 (R1)	920件	1,081件	1,200件	90.0	産業観光課	坂出市観光協会では、新型コロナウイルスの終息を見据え、旅行先として選ばれるまちとなるよう、SNS等を活用し本市の旬の情報を効果的かつ効率的に発信した。	令和4年度に、観光協会を一般社団法人とする。法人化することにより、旅行業の登録が可能となることから、本市への旅行企画やツアーの造成、本市の地域資源を活用した観光客に選ばれる商品の開発・販売等を行うなど、観光による本市のPRや地域経済の活性化に寄与していく。 引き続き、SNS等を活用し本市の旬の情報を効果的かつ効率的に発信し、新型コロナウイルス終息を見据え、旅行先として選ばれるまちを目指す。
8	ふるさと坂出応援寄附	寄附件数(件数/年)	6,926 件	14,617 件	16,811 件	10,000 件	168.1	政策課	令和2年度は、マルチペイメント決済を追加した。また、クラウドファンディング「コロナと戦う病院にエールを！みんなで坂出市立病院を支えようプロジェクト」を実施し、150件 11,120,421円の寄附金が寄せられた。 令和3年度は、職員提案をもとに新たな種類の返礼品が登録されたほか、寄附者へのアフターフォローとしてメルマガの配信を行った。	引き続き、本市の特徴を生かした魅力ある返礼品を提供するとともに、事業者へ積極的に働きかけ返礼品の拡充に努めることにより、地場製品のPRと寄附の増加を目指す。 新規寄附者の獲得が課題であることから、専用サイトを増やし、利用促進を図る。また、寄附者に対し本市の魅力発信を継続して行い、リピーター増加につなげる。
9		寄附金額(円/年)	119,050 千円	371,566 千円	394,768 千円	200,000 千円	197.4			

### (3) 移住・定住の促進

#### ①移住の促進

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
10 新婚世帯家賃補助事業、移住世帯家賃等補助事業	家賃補助事業を利用した市外からの移住者数(人/年)	72人	59人	79人	150人	52.7	政策課	新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和2年度は、実績が当初値や前年度に比べ減少した。令和3年度は前年度より増加しているが、移住者数は低迷しており、低い達成度となった。	新婚世帯を対象とする新たな支援制度を設けることから、当該新婚世帯家賃補助事業の対象は、令和4年3月31日までに婚姻しており婚姻届を提出して2年以内の世帯のみとなる。 県外からの移住世帯への家賃等補助は継続する。 引き続き、移住者への支援を実施し、本市への移住の促進に努める。
11 空き家バンク	香川県空き家バンクサイトの市内物件登録件数	9件	26件	35件	20件	175.0	政策課	制度の認知度の高まりから、令和元年度以降、20件以上の登録件数で推移している。空き家バンクへの登録に関する相談は増加傾向にある。	平成29年度から固定資産税の納税通知書にチラシを同封して制度の周知を図ったところ、多数の問い合わせをいただいていることから、引き続き実施し、制度の周知に注力する。
12 移住促進・空き家改修等補助事業	移住促進・空き家改修等補助事業を利用した市外からの移住者数	0人	2人	5人 (R2~R6)	10人 (R2~R6)	50.0	政策課	制度の認知度の高まりから、補助の利用件数が増加している。令和3年度は全体で8件の利用があり、予算で確保した件数分の申請があり、順調に利用実績が伸びている。  実績 (R2~) 令和2年度 5件、移住者数 2人 令和3年度 8件、移住者数 3人	平成30年度の制度開始より、順調に利用実績が伸びてきており、引き続き制度の周知に努め、補助事業の利用を促進する。

## ②若者の定住促進

施策	K P I		第 2 期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
13	就職フェア	就職フェア参加者のうち市内企業への就職者数(累計)	-	2名	R4.12月頃調査予定	15名 (R2~R6)	13.3	産業観光課	<p>実施状況(参加企業・参加者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度:32社・23名(H31.3月)</li> <li>・令和元年度:新型コロナウイルス感染症の影響により中止</li> <li>・令和2年度:28社・59名(R3.3月)</li> <li>・令和3年度:新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年5月に延期</li> </ul> <p>面接などの選考活動スケジュールの変更や、売り手市場により8月の参加者数が減少したことから、平成28年度より、年2回開催していた就職フェアを1回のみとした。</p>	日本経済団体連合会が令和3年以降の学生を対象とする採用選考に関する指針を策定しないことを正式に発表し、令和3年以降は政府が日本経済団体連合会に代わり新たなルール作りを主導することとなった。このような動きを注視しつつ、フェア開催時期等を検討しながら、将来的な市の人口増に繋がるよう今後も就職フェアを開催していく。
14	UJIターン職員採用	UJIターンによる職員採用人数	1名 (R1)	1名	1名	10名 (R2~R6)	20.0 (累計ベースR2~)	職員課	<p>令和3年度採用は募集1名程度に対し、採用実績は試験の結果1名となった。</p>	本市に定住することを条件としたUJIターン型採用枠を設定することにより、民間企業等で培った知識や経験を本市の発展や組織の活性化に役立てるとともに、本市の人口増加、定住促進に寄与する。今後の募集においても採用枠を設け、目標達成に努めていきたい。

## (4) 交流人口の拡大と関係人口の創出

### ①観光を軸にした交流人口の拡大と関係人口の創出

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
15	瀬戸内国際芸術祭関連事業	瀬戸内国際芸術祭2022の沙弥島会場の来場者数	58,766人 (芸術祭2016) 72,459人 (芸術祭2019)	-	-	78,000人	-	産業観光課	瀬戸内国際芸術祭は3年に一度実施されている事業であり、令和3年度は実施年度ではないため実績は0である。次回実施年度は令和4年度である。  瀬戸内国際芸術祭2019における成果を踏まえ、さらなる来場者数の増加につなげたいが、新型コロナウイルスと共存せざるを得ない状況の中で、どれだけ来場者数の増加が見込めるかが課題である。
16	観光振興事業	入込客数 (人/年)	4,480,272人	2,736,930人	2,908,252人	4,700,000人	61.9	産業観光課	新型コロナウイルス感染症の影響が令和2年3月から出始めている。  観光プロモーションビデオの作成や市ホームページにおける観光情報の特設サイトを新設させる等により、本市の魅力をPRすることで交流人口の拡大を図っていく。
17	まちあるき事業	まちあるき事業のツアー参加者数 (人/年)	758人	339人	144人	770人	18.7	産業観光課	新型コロナウイルス感染症の県内での感染状況を踏まえ9月までツアーを中止した。  ウィズコロナの時代に適したまちあるきを継続しつつ、引き続き、坂出市の魅力をPRできるまちあるきコースの造成を図り、交流人口の拡大を図っていく。
18	カヌーのまちさかいで推進事業	カヌー競技場の利用者数 (人/年)	17,826人	8,217人	9,617人	18,000人	53.4	生涯学習課	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、県下で数度のまん延防止等重点措置が発出され、イベントの中止、施設の一部閉鎖、中高校カヌー部の活動停止等により利用者が昨年度と同様に伸び悩んだ。  新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底し、困難な状況の中でも、予定されている行事や大会の実施を図る。坂出市カヌー協会と連携し、小学校、子ども会等のカヌー体験受け入れなどを積極的に進め、地域スポーツの振興による本市の活性化やにぎわいの創出を図る。

## ②特色を生かした地域づくり

施策	K P I 第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
19	讃岐国府跡保存 活用事業 (再掲5)	讃岐国府跡調査 報告会来場 者数(人/ 年)	90人	90人	0人	150人	0.0	文化振興課	令和3年度は発掘調査がなかったことや新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年開催されていた報告会が中止となったため。  令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となってしまったが、讃岐国府跡の発見当初は新聞報道等の影響もあり、現地説明会の参加者数や毎年度参加されている熱心な来場者もいることから、一定数の来場者が見込まれる。 また、平成25年度以降、毎年度実施しているが、参加者が固定化されている傾向が伺えるため、その年度の講師や講演内容によって参加者に多少の増減が見られる傾向にある。 今後の講演内容や開催日時等を再検討し、さらなる情報発信に努めながら、目標値の参加人員の回復を目指す。
20	にぎわい創出事業	にぎわい創出事業を契機に定着した事業数(累計)	6件 (H27~H30)	9件	10件 (R2~R3)	12件 (R2~R6)	83.3	産業観光課	にぎわい創出事業を活用することで市民が自発的にイベント等を実施し、にぎわいづくりに参加する機会を創出できおり、令和3年度は匠プロジェクトや、坂出の街を楽しむ会など、新たなにぎわいを創ってくれる団体が増えた。  今後にもにぎわい創出事業により各種事業を支援することでのにぎわいの創出を図っていく。

## 基本目標2 子育て世代に選ばれるまちづくり

### (1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援

施策	KPI		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
21 乳幼児健診等未 受診者全員への フォローアップ	乳幼児の健康 状態の把握率	-	100%	100%	100%	100.0	けんこう課	令和3年度の乳幼児健診(3-4か月児健診, 1歳6 か月児健診, 3歳児健診)はコロナ禍での実施で あったが, 密にならないよう会場を変更したり, 予約時間の配慮等で安心して健診を受けられる体 制を整え, 受診率は全体で97.5%であり, 高い受 診率を維持できている。また, 健診未受診の場合 は必ず地区担当保健師が電話や訪問で状況を確認 し, 受診勧奨を継続して行っており, 2回連続未 受診であった場合は月に1回の会議において係内 で協議する体制を整え, 乳幼児の健康状態の全数 把握に努めている。	コロナ禍の状況により, 急遽集団健診から個別 健診(医療機関での健診)に変更することもある。 支援が必要なケースについては, 必ず委託医 療機関から市に情報提供してもらうよう, 今後も 委託医療機関に依頼し, 切れ目のない支援につな がるよう努める。個別健診に変更した場合でも, 未受診者に対する状況の確認は重要であるため, 今後も月1回の会議を継続し, 乳幼児の健康状態 の全数把握を継続していく。
22 ブックスタート 事業	利用率	100%	100%	100%	100%	100.0	大橋記念図 書館	平成16年度より継続して実施していることか ら, 市民へも浸透しており利用率の高まりがみら れる。	ブックスタートを一過性のもので終わらせない ための図書館行事を充実していく。

### (2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

施策	KPI		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
23	地域子育て支 援拠点事業利 用者数(人/ 年)	9,646人	6,032 人	5,085 人	9,700 人	52.4	こども課	平成28年4月の子育て支援センターの開所以 来, 認知度も徐々に高くなってきている。また, 平成29年度から開始した一時預かりの利用者数に ついては当初の想定を超え, 地域における子育て 支援の拠点としての機能を果たすことができている。 令和3年度においては, 地域子育て支援拠点 事業について新型コロナウイルス感染症の影響に より68日間休館したため, 利用者数が減少した。	今後においても, 引き続き検温等の新型コロナ ウイルス感染症対策を徹底しつつ, 令和2年度か ら令和6年度までの「第2期坂出市子ども・子育て 支援事業計画」に沿って, 地域子育て支援拠点事 業等を民間等の子育て支援のノウハウを活かした 指定管理による運営を行う。また, 利用者等から の意見や要望からニーズを把握し, できる限り運 営に反映させ, 子育て支援の拠点として継続的な 役割を果たしていく。	
24	さかいで子育て 支援センター (まろっ子ひろ ば)の運営	一時預かり事 業利用者数 (人/年)	421人	423人	568 人	430人				132.1
25	利用者支援事 業利用者数 (人/年)	361人	574人	492 人	400人	123.0				



### (3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
26	心をはぐくむ講師派遣事業	心をはぐくむ講師派遣事業の講演等への満足度	-	90%	95%	85%	112.0	学校教育課	<p>小学校3校、中学校2校を対象に、社会の様々な分野で活躍している著名な方々を招いて講話やワークショップを行った。</p> <p>実施後のアンケート調査や児童生徒の感想からは、事業に対する満足度はどの学校においても95%を超える肯定的な回答が得られている。感想においても、「これからの自身のあり方や生き方に重ね合わせた内容の記述が数多くみられ、貴重な学びの機会となった」という趣旨のものが多くみられた。</p>	<p>事業対象校は、予算に見合った講師の選択の難しさを感じている。また、どのような内容や方法が児童生徒の心に響くものとなるかということにも苦慮している。そのうえに新型コロナウイルス感染症のため事業実施時期についても影響が及んでいる。</p> <p>児童生徒の豊かな心をはぐくむため、今後も常に情報収集に努め、事業に見合った講師の選択やワークショップなど体験的な活動を取り入れるなど内容や方法の工夫を図っていきたい。</p>
27	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」の運営	利用者数(人/年) H29.4開設	3,636人	1,476人	1,482人	4,000人	37.1	生涯学習課	<p>平成29年度に開設した宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」は、利用団体等からの要望もあり、平成30年度に宿泊室へのエアコン設置を行い、利便性の向上を図った。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数は前年度並みとなっている。</p>	<p>利用者の増加を図るため、王越地区の魅力ある資源やピザ窯等の設備を利用した体験プログラムを地元団体の協力のもと8コース増設するとともに、ウッドデッキを設け施設の充実を図った。引き続き、トンボ学校を始めとする季節に応じたイベントの開催を行う他、とんぼランドをPRするなど王越町の魅力の発信や王越地区のにぎわいの創出を図っていく。</p>

### (4) すべての人が活躍できる環境の整備

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
28	審議会等における女性委員の就任	審議会等における女性委員の割合	17.2%	18.4%	20.4%	30%	68.0	人権課	<p>平成26年度から微増ではあるが毎年度着実に増加している。令和2年度実績において、女性がいない審議会数が増えたため一度減少したものの、令和3年度実績においては、前年度と比較し、3つの審議会で女性委員の数が減少した一方で、9つの審議会で増加し、再び女性委員の割合は増加した。</p>	<p>現在の総委員数363人に対する目標値(3割)は109人であり、35人不足している状況である。現状推移からは目標年度での達成は非常に厳しい状況である。</p> <p>庁内各課が所管している審議会への女性委員の積極的増員について、各課に働きかけていく中、現状分析に基づく個別対策が必要である。</p>
29	管理職等への女性の登用	市の係長級以上の女性職員の割合	31.8%	33.3%	32.8%	33%	99.4	職員課	<p>令和3年度において目標値である33%を概ね達成した。なお、令和4年4月1日時点における数値は31.6%となっている。</p>	<p>女性活躍推進法が平成28年4月1日施行となり、今後も能力が高く、実績ある女性を積極的に管理職等に登用し、係長級以上の女性職員の割合33%という数字を維持していく。</p>

施策	K P I		第 2 期の達成状況					担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
30	女性消防団員の 拡充	女性消防団員 数	26名	26名	25名	30名	83.3	消防本部	<p>防災訓練や救急講習・外国人研修等での女性消防団員のきめ細かな指導は、常に好評を得ている。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も引き続き、講習・研修等の開催が難しく、活動に影響が出た。</p>	<p>現状に留まらず、活動の場を広げていくとともに勧誘活動も実施していく。 また、コロナ禍でも継続して活動を行っていくための新しい活動方法を摸索し、さらに活躍の場を増やしていく。</p>
31	日本語教室の開 催	日本語教室の 学習者数(人 /年)	373人	158人	188人	420人	44.8	秘書広報課	<p>令和元年度実績は460人で、目標値を達成したが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で半分に減少した。令和3年度も、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として日本語教室の定員数削減や約3か月間の休止等を行ったこと、学習者の外出控え等の理由により、当初値と比べて学習者数が半分となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学習者数が減少することはやむを得ないと考えている。 引き続き、日本語ボランティアと連携して、既存学習者への日本語教室の開催・休止連絡や生活・イベント情報の提供をこまめに行い、併せて在住外国人や日本語ボランティア希望者への日本語教室の広報・周知を行うことで、新規学習者の掘り起こしや日本語ボランティアの確保に努めていく。</p>

### 基本目標3 安心して暮らしやすい、持続可能なまちづくり

#### (1) 企業誘致と産業振興による働く場の確保

##### ① 企業立地の促進と競争力強化の支援

施策	KPI 指標名	第2期の達成状況					担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
		当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
32	企業立地促進助成金 利用件数 (直近5年の 件数)	10件 (H26~ H30)	10件 (H28~ R2)	10件 (R2~R3)	15件 (R2~R6)	66.7	産業観光課	実績(利用件数・市内新規常用雇用者数・助成金額) ・平成28年度:0件 ・平成29年度:2件・5名・28,458千円 ・平成30年度:2件・5名・77,749千円 ・令和元年度:1件・2名・18,740千円 ・令和2年度:5件・36名・281,777千円 ・令和3年度:5件・21名・293,996千円	例年数件の助成実績があるが、番の州臨海工業団地における立地が完了してしまったこともあり、企業に提供できる工業適地の情報がない状況である。番の州臨海工業団地での立地助成についてはいまだ完了していないものもあるため、目標値は達成できるものと見込めるが、今後の課題として工業適地の調査ならびに把握、また大規模立地を重視していた政策の転換についても検討が必要となる。	
33		企業立地促進助成金を利用した市内新規常用雇用者数 (直近5年の 件数) [再掲3]	54名 (H26~ H30)	48名 (H28~ R2)	57名 (R2~R3)	60名 (R2~R6)				95.0
34	就職説明会等出展支援事業補助金	就職説明会等出展支援事業補助金の利用件数	-	0件	0件 (R2~R3)	10件 (R2~R6)	0.0	産業観光課	新型コロナウイルス感染症の拡大により、ほとんどの就職説明会が中止となったことが利用件数に影響したものと考えている。	就職説明会等出展支援事業を広く周知し、市内事業者の雇用問題解決に繋がるように支援していく。
35	特許取得促進事業	特許取得促進事業補助金の利用件数(累計)	1件 (H27~H30)	1件 (H27~R2)	0件 (R2~R3)	3件 (R2~R6)	0.0	産業観光課	実績(利用件数・補助金額) ・平成28年度:1件・200千円 ・平成29年度~令和3年度:実績なし	特許取得推進事業を広く周知し、坂出市の産業活性化に繋がるよう支援していく。
36	高校生資格取得費補助金	高校生資格取得費補助金の利用者数 (人/年)	245名	250名	265名	300名	88.3	産業観光課	実績(合格者数・補助金額) ・令和2年度:250名・760,010円 ・令和3年度:265名・865,260円 例年200名強の合格者に対し補助金を支出している。今後も制度の周知を行いながら資格取得補助を行う。	新たな資格に対する審査申請については、適正な審査を行いつつ資格取得補助に努めていく。
37	日本語教室の開催 [再掲31]	日本語教室の学習者数(人/年)	373人	158人	188人	420人	44.8	秘書広報課	令和元年度実績は460人で、目標値を達成したが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で半分以下に減少した。令和3年度も、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として日本語教室の定員数削減や約3か月間の休止等を行ったこと、学習者の外出控え等の理由により、当初値と比べて学習者数が半分となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、学習者数が減少することはやむを得ないと考えている。 引き続き、日本語ボランティアと連携して、既存学習者への日本語教室の開催・休止連絡や生活・イベント情報の提供をこまめに行い、併せて在住外国人や日本語ボランティア希望者への日本語教室の広報・周知を行うことで、新規学習者の掘り起こしや日本語ボランティアの確保に努めていく。

施策	K P I		第 2 期の達成状況				担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
38	中小企業支援センター運営事業	相談件数	-	147件	773件	1,000件	77.3	産業観光課	相談による成功事例を増やし、対外的にアピールすることで、新規相談者の獲得に努め、より一層の支援を行う。 起業に関する相談が実際の起業につながるように、関係機関と連携しながら支援に努める。
39		支援事業による起業件数	-	0件	6件 (R2~R3)	25件 (R2~R6)	24.0		

## ②魅力ある農林水産物づくりと地域ブランドの展開

施策	K P I		第 2 期の達成状況				担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
40	ふるさと坂出応援寄附 [再掲8, 9]	寄附件数 (件数/年)	6,926件	14,617件	16,811件	10,000件	168.1	政策課	引き続き、本市の特徴を生かした魅力ある返礼品を提供するとともに、事業者へ積極的に働きかけ返礼品の拡充に努めることにより、地場産品のPRと寄附の増加を目指す。 新規寄附者の獲得が課題であることから、専用サイトを増やし、利用促進を図る。また、寄附者に対し本市の魅力発信を継続して行い、リピーター増加につなげる。
41		寄附金額 (円/年)	119,050千円	371,566千円	394,768千円	200,000千円	197.4		

## (2) さらなる市民共働の推進

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値			
44 坂出市政出前講座	「なるほど！ 坂出！！出前講座」の実施回数 (回/年)	-	67回	68回	125回	54.4	秘書広報課	令和元年度にスタートし、当初の実施回数は118回の実績があったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により実施中止等の期間を設けたため、67回と減少した。令和3年度も同様の理由により、実施回数は同程度となった。	今後も、新型コロナウイルス感染症の状況により、実施の判断や感染対策等について検討しながら進めていく必要がある。あわせて、各課に見直しを促し、内容の充実を図るとともに、周知にも努める。
45 出前市役所	出前市役所の実施回数 (回/年)	52回	25回	3回	60回	5.0	総務課	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、職員の派遣の制限や、地域の行事・会合等が中止・制限されたことから、回数が減少した。	地域の課題となっている事項等について、自主的な問題提起ならびに班員との共有が図られ、ともに課題解決に向けて取り組む機運を醸成していくことが課題であるとともに今後の取り組み方針である。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域において、行事・会合等が制限される中、出前市役所としての関わり方を検討していく必要がある。
46 自治会活動保険補助金	自治会活動保険補助金の補助件数 (件数/年)	42件	33件	35件	60件	58.3	総務課	補助件数は、令和元年度まで増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域の行事等が中止になり、活動保険を利用する回数が減少したと考えられる。(令和元年度実績 54件)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域において、行事・会合等が制限される中、実施される行事等に対し、活動保険を活用していただくよう、機会を捉え、さらなる周知を図っていく。
47 図書館支援ボランティア事業	図書館支援ボランティア事業の共働事業の参加人数	5,212人	1,675人	1,962人	5,800人	33.8	大橋記念図書館	ボランティアに参加されているかたは意欲的に活動されている。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響で行事の中止が相次ぎ、参加人数が大きく減少した。 実績 令和元年度 4,521人	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、感染症対策を徹底して、可能な範囲で活動の再開を図っていく。

### (3) 健幸のまちづくりの推進

施策	K P I 第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	目標値(R6)	達成度(%) R3実績/目標値			
48 がん検診事業	受診率(胃がん)	4.1%	2.6%	3.5%	5.0%	70.0	けんこう課	令和3年度のがん検診受診率は令和2年度の受診率を上回った。新型コロナウイルス感染症による受診控えが落ち着いたことと、検診の重要性などの周知を広く行った効果と思われる。 しかし、目標の達成までには至っていないため、今後も受診率向上のための施策が必要となる。	検診実施医療機関、集団検診会場での感染防止対策を徹底していることを市民に周知し、令和4年度も通常通りの受診期間を設定し検診を開始した。 今後も感染対策を行いつつ、未受診者への受診勧奨を効果的に行っていく。
	受診率(大腸がん)	14.2%	11.9%	13.1%	17.0%	77.1			
	受診率(肺がん)	17.6%	13.3%	15.3%	20.0%	76.5			
	受診率(子宮頸がん)	14.0%	12.6%	13.7%	17.0%	80.6			
	受診率(乳がん)	17.2%	15.7%	16.2%	20.0%	81.0			
49 特定健康診査	受診率	36.8%	31.3%	36.5%	60%	60.8	けんこう課	令和3年度の特定健康診査受診率は、当初値である平成30年度と同等程度のものとなった。これは新型コロナウイルス感染症による受診控えにある程度の落ち着きが見られたこと、加えて令和3年度から委託を行った未受診者勧奨通知の送付が効果的であったことが理由であると考えられる。	未受診者に対する受診勧奨通知の送付に効果があると見られることを踏まえ、同勧奨通知の送付事業を継続して行っていく。新型コロナウイルス感染症の今後の動向に配慮しつつも、コロナ禍においても特定健康診査の毎年受診は欠かすべきではない旨を未受診者に対して伝えていく。
50 かがわ健康ポイント事業	「マイチャレカード」発行数	153人	266人	345人	300人	115.0	けんこう課	香川県の「かがわ健康ポイント事業」に市独自の特典を上乗せし、参加者の増加を図る。また、令和2年度から市独自の健康ポイント事業も同時に実施し、相乗効果を図ったところ、新規および継続参加者が増えた。	香川県に事業の継続を要望していくとともに、新規および継続参加者が増えるよう、周知啓発・新規企画など香川県と連携して取り組んでいく。
51 ラジオ体操普及事業	ラジオ体操普及拠点数(ミニ広場を含む)	7か所	7か所	7か所	13か所	53.8	生涯学習課	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し、西庄体育館でラジオ体操大会を開催することができたが、新規ラジオ体操広場の開設には至らなかった。	ラジオ体操広場未設置の地域への新規広場の開設を図っていく。
52 地域ケア会議	地域ケア会議の開催回数	62回	57回 (地域ケア会議 0回+個別ケア会議 9回+48回(包括))	59回 (地域ケア会議 1回+個別ケア会議 11回+47回(包括))	65回	90.8	かいご課	地域ケア会議は、2か月に1回開催予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回のみ開催となった。 個別ケア会議は、毎月1回開催しており、困難事例について、多職種による検討を行った。 毎週1回包括ケアマネ会議を実施し、自立支援のための事例検討を行った。	多問題を抱えた世帯への支援が増加していることから、関係課や関係機関を含めた検討ができる体制の構築が必要となっている。

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
53	生活支援体制整備事業	第2層協議体の設置数	7地区	11地区	11地区	12地区	91.7	かいご課	平成29年4月に、第1層協議体「坂出 ささえまる ネットワーク」を発足。それに伴い、平成29年6月に第1層生活支援コーディネーターとして、坂出市社会福祉協議会を選任した。 令和元年度に、生活支援全体のコーディネートを市社協に委託した。令和3年度末時点で市内11地区に、第2層協議体設置済。	継続して、市内全地区における第2層協議体の設置を働きかけていく。また、生活支援コーディネーターである市社協と連携して、各地区の実状に応じて、具体的な支え合い・助け合いの活動に向けて、働きかけを行っていく。
54	認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座受講者数	3,838人	4,346人	4,419人	5,000人	88.4	かいご課	認知症サポーター養成講座の定期開催等受講者の増加を図るも1回あたりの受講者が減少し、増加に繋がっていない。新型コロナウイルス感染症拡大のため、講座の開催回数が減少した。 (令和2年度実績 4,346人)	講座開催について、金融機関や商店など新規対象の開拓、小・中学校に加え、高等学校への働きかけの強化を通じて、受講者数の増加を図っていく。

#### (4) 災害・防災対策の強化と持続可能な地域づくり

施策	K P I		第2期の達成状況				担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
55	自主防災組織支援事業	活動費および資機材整備事業補助金交付件数(件/年)	13件	2件	2件	20件	10.0	危機管理課	組織数：99組織 新型コロナウイルス感染症の影響により自主防災組織の活動が激減した。	防災講話や訓練の実施などによって、組織の防災力向上を進めていく。
56	防災士資格取得費補助金	利用人数(人/年)	9人	8人	10人	毎年度10人	100.0	危機管理課	目標値は概ね達成できた。	社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待される防災士の役割等をあらゆる機会周知していく。
57	防災・危機管理スペシャリスト	認定人数(人/年)	-	16人(R2~R6)	16人(R2~R6)	25人(R2~R6)	64.0	危機管理課	令和2年度の初回認定により16人が認定された。	令和5年度に認定のための研修を予定している。

施策	K P I	第2期の達成状況					担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	目標値 (R6)	達成度(%) R3実績 /目標値				
58	民間住宅耐震対策支援事業	耐震診断件数 (件数/年)	14件	9件	14件	25件	56.0	建設課	民間住宅耐震化の普及啓発活動を行うとともに、民間住宅の耐震診断の実施に対して補助を行った。  民間住宅耐震化の普及啓発活動を行うとともに、民間住宅の耐震改修工事の実施に対して補助を行った。	今後も引き続き、普及啓発活動に取り組み、民間住宅の耐震化を支援する。
59		耐震改修件数 (件数/年)	10件	10件	10件	15件	66.7			
60	女性消防団 [再掲30]	女性消防団員数	26名	26名	25名	30名	83.3	消防本部	防災訓練や救急講習・外国人研修等での女性消防団員のきめ細かな指導は、常に好評を得ている。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も引き続き、講習・研修等の開催が難しく、活動に影響が出た。	現状に留まらず、活動の場を広げていくとともに勧誘活動も実施していく。 また、コロナ禍でも継続して活動を行っていくための新しい活動方法を摸索し、さらに活躍の場を増やしていく。
61	橋梁管理	市道における橋梁の補修箇所数(累計)	16橋 (H27~30)	7橋 (R2)	12橋	25橋 (R2~R6)	48.0	建設課	橋梁点検結果に基づき、緊急性の高い橋梁から順次、修繕工事を実施している。	橋梁の長寿命化を図るため、今後も引続き橋梁点検結果をふまえて、修繕工事を実施する。
62	地震津波対策事業	地震津波対策事業における対策箇所延長	248 メートル (H28~H30 累計)	298 メートル	343 メートル	1,014メー トル (R2~R6累 計)	33.8	港湾課	目標値に対し、一定の事業進捗を達成できている。	南海トラフ地震等により発生する津波から背後地を防護するため、今後も引続き計画的に地震津波対策事業を実施する。